



時間を守ることの大切さ

校長 羽田野庸史

あけましておめでとうございます。

今年は戌年です。戌年の「戌」には、「成長してきた草木が実を結んだ」酉年から「新たな種子ができる」亥年へと、実を結んだ草木がいったん枯れ、その後で新しい芽吹きへと生命を繋げていく、そんな大切なバトンタッチの意味があるそうです。昨年度、東町小は、全ての児童が国際学級開設以降に入学・転入した児童になりました。今年、戌年にちなんで新たな充実・発展につなげる大事な一年にしていきたいと思えます。

ところで、次にお示した数は、何を表していると思われますか？

- 1年 … 7名、3名、4名、2名、6名
- 2年 … 6名、6名、8名、5名、10名
- 3年 … 2名、3名、1名、5名、2名
- 4年 … 3名、4名、2名、1名、1名
- 5年 … 4名、9名、11名、5名、5名
- 6年 … 4名、3名、3名、6名、5名

実は、2学期最終週～金曜日までの各学年の遅刻者数です。ただし、朝、具合が悪く様子を見てから登校した児童や通院してから登校した児童は含まれていません。

昨年11月から遅刻者（※8時20分過ぎに登校した児童）には、正門玄関で名前を書いてもらっています。これによって、それまでは遅刻していたのに全く遅刻しなくなった児童や、以前は、遅刻ぎりぎりでも悠々と歩いていたのに急ぐことで遅刻しなくなった児童がいます。

以前、時間を守ることの大切さに関連して、全校朝会で児童に次のような話をしました。「もしあなたが社長さんで、とても大事な仕事を頼まれました。その時、バリバリに仕事はするけど、締切日を守らないことがある社員Aさんと、仕事はそこそこだけど、締切日はしっかり守るBさんとどちらに仕事を任せますか？」と投げかけました。目の前の子供社長は、ほとんどがBさんを支持しました。

“たかが遅刻、されど遅刻”です。大人になって、時間を守るだけでどれだけ周囲の人から信用されるでしょう。そして、時間を守るということは特別な才能ではなく、誰でも少し頑張ればできることではないでしょうか。

さて、3学期がスタートしました。3学期は、56日（6年生は55日）と一年間で最も短い学期です。正に時間を大切に、学年のまとめをしっかり行い、新たな学年への心構えをもたせていきます。

本年も保護者や地域の皆様のご支援・ご協力をいただきながら、児童にとって充実した年になるように教職員一同、努力して参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

1月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	月	元日	
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		
7	日	冬季休業日終了	
8	月	成人の日	
9	火	始業式 大掃除 安全指導 給食始め 4時間授業	なし
10	水	席書会(1～3年) 4時間授業	なし
11	木	席書会(4～6年)	4～6
12	金	Enjoy Music プロジェクト (4年)	2～6
13	土		
14	日		
15	月	保護者会(5校時低学年・6校時高学年) 書き初め展始	なし
16	火		3～6
17	水		なし
18	木	児童集会 計測(6年) 漢字検定 6年 AED 使用練習授業 5時間授業	4～6
19	金	計測(5年) 書き初め展終了 芸術鑑賞教室(2～6年)	2～6
20	土	もちつき大会	なし
21	日		
22	月	避難訓練 委員会活動 計測(4年)	5～6
23	火	計測(3年)	3～6
24	水	計測(2年)	なし
25	木	音楽朝会 計測(1年)	4～6
26	金		2～6
27	土		
28	日		
29	月	クラブ(3年生クラブ見学)	4～6
30	火		3～6
31	水	4時間授業(6年2組研究授業)	なし

1月の生活目標

生活指導主幹 三根 博喜

時間・時刻を守って生活しよう

「いのち」とは「時間」(聖路加国際病院・日野原重明氏)

日野原先生の「いのちの授業」では、子供たちに「いのちってなんだと思う?」と問いかけます。いろいろな意見が出たあと「いのち」とは、私たちがもっている時間の証です。」と語られます。

「いのち」とは「時間」だということです。遅刻することとは、自分と相手の「時間を無駄にする」ということであり、自分と相手の「いのちを無駄にしている」ということになります。時間を守ることは「あなたのことを大切にしています。」というメッセージであり、相手はあなたのことを信頼してくれるようになります。毎日の時間・時刻を守っていきましょう。

席書会・書き初め展

国語部 野島 美砂

1月10日(水)に1、2、3年生が、1月11日(木)に4、5、6年生が席書会を行います。「席書」には、「集会などの席で即興的に書画をかく。」という意味や、「江戸時代に手習い師匠が門弟その他の人を集めて開いた書道の展覧会」という意味があります。このことから多くの小学校などで、「展覧会を開くために集まって書き初めをする会」を「席書会」として実施しています。

1、2年生は教室で硬筆の書き初めに、3年生以上は学年毎に体育館に集まって毛筆の書き初めに取り組みます。どの学年も、2学期末や冬休み中に練習した成果を發揮すべく、一生懸命書き上げます。書いた作品は、「書き初め展」で展示しますので、保護者会にお越しの際などに、ぜひご覧ください。

★「書き初め展」

展示期間：1月15日(月)～20日(土)

展示場所：1～5年…各教室前の廊下

6年…新校舎1階



4年生の今 ～高学年に向けて～

4年1組担任 寺本 英子

4年2組担任 三根 博喜

4年生の3学期が元気にスタートしました。4年生は、北風もなんのその、寒い季節にもなわとび運動や鬼ごっこ、ボール遊びなどで元気に遊ぶ姿が見られます。

そんな元気いっぱいの4年生ですが、3学期のスタートにあたり、気持ちを引き締め、高学年に向けての大きなめあてをみんなで決めました。

○5・6年生を見習って高学年の準備をする。

○「4年生の学習発表会」を成功させる。

昨年度まで「2分の1成人式」といわれてきた取り組みを今年度は「4年生の学習発表会」としました。これまで学習してきたことを課題別(音読、なわとび、合奏、調べ学習の発表など)に発表し合い、学んできた成果を発表したり、自分たちの成長を確かめて喜び合ったりする会です。

4月からは5年生。高学年の仲間入りです。4年生の子供たちはみんな東町小が大好きです。その東町小のために、上の学年を支え、たくさんの下学年の手本になりたいという気持ちが少しずつ芽生えてきています。

あと3か月、下学年から尊敬される高学年をめざし、4年生73人がパワー全開で頑張ります！

給食大好き♪

学校栄養指導員 小出 紋子

校内に広がる給食室からの香りにおなかをすかせたり、休み時間に校庭から給食室をのぞいたり、気に入ったメニューのレシピを聞きに来たり、給食が大好きな「東町の子」がたくさんいます。

1年間に195回ある給食では、単に栄養を補うだけではなく、料理の名称や食材について学んだり、食事のマナーを身に付けたりしています。「給食の時間が楽しい」と感じ、「食」にもっと興味がわくような献立作成や給食指導を心がけています。「給食」をきっかけに日本の行事や外国の文化など多くのことを学んでほしいと思っています。そのため、日本の行事食・郷土料理、世界の料理、自家製パンなどバリエーション豊かな味と雰囲気での給食を毎月実施しています。

また、本校は国際学級ということもあり、多国籍の児童が同じ食卓を囲みます。日本ならではの食文化を正しく伝えていけるように食器の置き方、お箸の使い方、食事のマナーなどを継続的に指導しています。ご家庭でも食事の際に、ご指導ご協力のほどよろしくお願いいたします。

図工のこたえ

図工専科 小林 未来

もしも、小学校の時間割の中に図工がなかったら…。図工や美術がない世界があるとしたら、人間はどのような生き方をするだろう。そんなことを時々考えます。もしかしたら、他者の個性を尊重すること・認め合うことができなくなる…かもしれない。もしかしたら、まわりに溢れる美しいもの、素敵なものに気付けない人になる…かもしれない。もしかしたら、みんな同じものばかりの、創意工夫のないつまらない世界になってしまう…かもしれない。全部『もしかしたら』の話ですが、きっとそうなるだろうと思うのです。

図工の時間には、決められた「こたえ」はありません。40人いれば、40通りの考え方で、40個の「こたえ」が生まれます。子供たちは自分のこたえを導き出す過程で、もっとよくするための工夫を探したり、友達の考えに共感したり、色や形のよさに気付いたり、違いを認め合ったりしています。『もしかしたら』の世界とは全く逆の、豊かな時間がそこにはあります。

子供たちが失敗を恐れず、自由に伸び伸びと自分の「こたえ」を探していけるように。図工の授業で、子供たちが楽しい時間をつくれるように。図工の「こたえ」を見つける力を付けるように指導していきます。

ユニセフ募金 **75287円**をユニセフ協会に寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。